

ホームページトピックス

編集委員会報告・ホームページWG
山本 幹登

[1] はじめに

平成12年に中部地質調査業協会のホームページを開設して今年で14年目を迎えます。ホームページWGは、ホームページを利用して協会員のみなさまに地質調査の役割・重要性をアピールするとともに、一般の方からのご相談、問い合わせにも適宜対応してまいりました。

平成22年にホームページをリニューアルいたしましてからは、みなさまが必要な情報を迅速にホームページに反映し、よりお役に立てるようにとCMS(コンテンツマネジメントシステム)を導入し、現在に至っております。

今後もみなさまからのご意見・ご要望を取り入れながら情報を提供し、より身近なホームページとなるように改善していきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

[2] 更新・変更箇所について

本ホームページの特色として上げられるのは、平成22年度より本格運用され、迅速かつ簡便に更新作業を行うために導入されたCMSであります。常に訪問者のみなさま側に立って考え、お役に立てばとの思いで更新作業を進めてまいりました。昨年度は会員専用ページを活用し、多くの会員のみなさまにお役に立てたのではないかと思います。

今年度は更なる充実を図るため、主に図-1で記した「地質調査業とは」、「技術資料」、「出版物の紹介」の3箇所を更新・変更いたしました。



図-1. 現行ホームページのトップ画面と変更箇所

今年度のホームページWGは以下の5名です。

上田 翔
(応用地質(株))

津坂 喜彦
(株アオイテック)

平野 祐治
(基礎地盤コンサルタンツ(株))

米田 英治
(川崎地質(株))

山本 幹登
(東邦地水(株))



東海三県の地質と土木地質的特徴 ←追加

自然災害と地震の脅威 ←追加

優秀技術発表者賞の紹介

地質・環境・防災 Q&A

※濃尾平野の地盤は削除

図-2. 「技術資料」の更新・変更箇所

[3]技術資料の更新・変更

「技術資料」の更新(前頁図-2参照)では、新たに2項目を追加しました。一つ目は、創立50周年記念「土と岩」No.59の特別企画より「東海三県の地質と土木地質的特徴」を取り上げたものであり、内容は「地質編」と「地盤編」の2部構成としています。二つ目は「土と岩」No.60より、「自然災害と地震の脅威」について抽出し、東海三県の過去の被災事例及び将来起こるであろう南海トラフでの巨大地震に関する規模や被害想定について紹介しています。また過去のフォーラム等での優秀論文も更新しておりますので、ご覧いただければ幸いです。



- 「機関誌「土と岩」」に変更
- 「出版物」は削除
- 「土と岩」に変更

図-3 「出版物の紹介」の更新・変更箇所

[4]「出版物の紹介」の更新・変更

全地連の出版物については、当該HPをご参照いただくこととし、ここでは機関誌「土と岩」を紹介する内容に変更いたしました。なお、50周年記念特別号であるNo.59以降については目次だけでなく内容についても閲覧できるように改めました(図-3、図-4参照)。

[5]今後の更新予定と将来への展望

平成25年4月には、静岡県地質調査業協会16社が中部地質調査業協会に編入され、年度が変われば新たに名簿に追加されます。また、一昨年よりホームページ上でも開始した「土と岩」の読者アンケートの更新をいたしますが、今回ほとんど変更できなかった「地質調査業とは」については、今後の課題とし継続検討してまいります。

地震活動期に突入したと言われる現在、私たちホームページWGは時代とともに変化を求められることを念頭に、常に敏感に世の中の動きを観察し、その時代にあった話題をみなさまに提供しなくてはならないと考えております。

協会員のみなさまにおかれましても、題に沿うような資料情報がございましたら、是非ともご提供いただきますよう何卒よろしくお願いいたします。

今後もホームページの維持・管理に努めてまいりますので、引き続きご指導賜りますよう心よりお願い申し上げます。

図-4 「土と岩」の掲載について

